



令和5年3月14日（火）岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
岐阜かかみがはら航空宇宙博物館指定管理者 (公財) 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 学芸課	松波 柴田	直通058-386-8500 FAX 058-386-9912
航空宇宙産業課 企画連携係	岩田 中嶋	内線3764 直通058-272-8836 FAX 058-278-2653
各務原市 観光交流課観光振興係	神田 河瀬	直通058-383-9926 FAX 058-389-0765

未公開の資料を解説付きで公開！

「そらはく資料特別公開」を開催します

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（愛称「空宙博^{そらはく}」）では、小学校高学年以上を対象に「そらはく資料特別公開」を開催します。

学芸員の仕事の紹介と、STOL^{エストール}（短距離離着陸）実験機「飛鳥^{あすか}」に関する資料や部品など、空宙博の未公開資料・部品の一部を解説付きでご覧いただくほか、普段は入ることができない収蔵庫を公開します。

また、今回は、令和4年12月に寄贈を受けた「一式陸上攻撃機」のプロペラ（実物）も初めて公開します。一式陸上攻撃機は零戦と並んで旧日本海軍を代表する航空機で、1939年に各務原飛行場（現：航空自衛隊岐阜基地）で初飛行が行われた当県にゆかりの深い機体です。

記

- 開催日** 令和5年3月21日（火・祝）
- 時間** ①10:30～12:00 ②13:30～15:00
- 場所** 空宙博 1階オリエンテーションルーム及び収蔵庫
- 定員** 40名（各回先着20名） 事前申込受付中（3月19日（日）まで）
- 内容**
- (1) 学芸員の仕事の紹介
 - (2) 収蔵資料の解説
(STOL実験機「飛鳥」に関する資料など)
 - (3) 収蔵庫の公開
(STOL実験機「飛鳥」の部品及び「一式陸上攻撃機」のプロペラの公開及び解説。一部変更となる可能性があります。)

<参考：STOL実験機「飛鳥」について>



小さな地方空港でも離着陸できる技術などを得るために開発されたSTOL（短距離離着陸）実証機。1985年（昭和60年）の初飛行から3年半にわたって岐阜飛行場で飛行実験を行った。本機による初の輸送機用国産ジェットエンジンの開発や全複合材主翼の技術はその後の航空機技術開発の礎となった。今回は本機の搭乗員が装着していた飛行服やヘルメット、エンジン吸気口のカバーなどを公開します。

- ・全 幅： 30.6m
- ・全 長： 29.0m
- ・全 高： 10.2m
- ・メーカー： 川崎重工業

<参考：一式陸上攻撃機について>



零戦と並んで旧日本海軍を代表する航空機であるとともに、1939年に各務原で初飛行している縁のある機体。山本五十六連合艦隊司令長官が1943年にブーゲンビル島上空で戦死した際の乗機としても知られる。公開するプロペラは戦後東京湾で発見されたもの。

- ・全 幅： 24.9m
- ・全 長： 20.0m
- ・全 高： 6.0m
- ・メーカー： 三菱重工業



プロペラ

- ・直径： 3m40cm
- ・幅： 28cm
- ・材質： 金属製